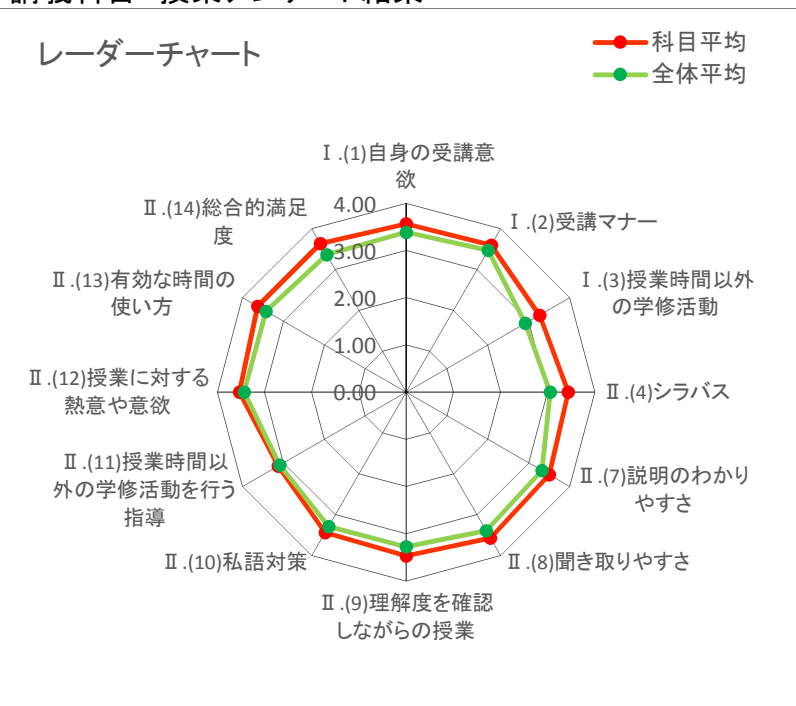
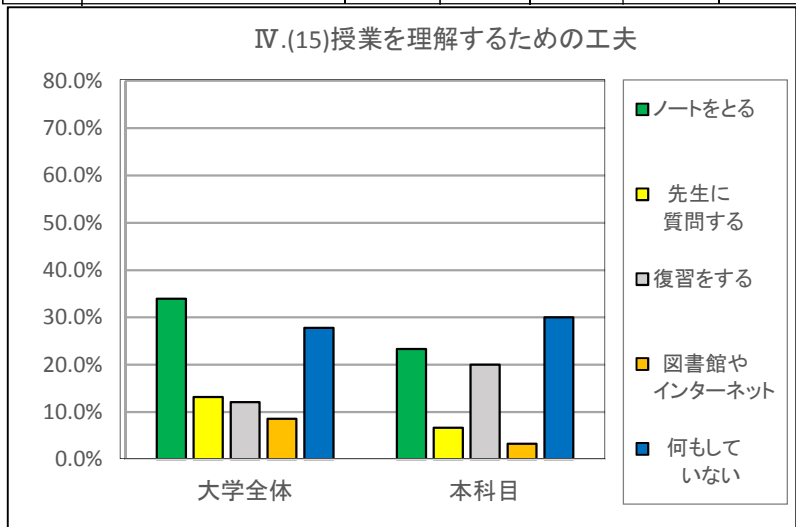


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	23.3%	6.7%	20.0%	3.3%	30.0%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度 後期
時間割番号	13310/13357
科目名	簿記Ⅱ/簿記
教員名	

①授業計画の達成度について

簿記学習の目的は現実の会計を理解するための入門簿記知識の習得である。今年度も前期の簿記Ⅰから引き続きの内容であり、受講生であった。この後期の授業においても、簿記検定試験3級教科書を中心に、またプリントを配布して講義を行った。3級の試験範囲は全て講義をし、私が大阪商工会議所簿記試験委員である経験を交えて講義や練習を行うことで、有意義な講義ができ、また後期の成績から授業計画である入門簿記知識の習得を達成できた。

②授業の進め方について

座席指定で静かな環境で授業実施でき、マイクを用いずに大きな声で明瞭に説明したことが良かったことが、「自身の受講姿勢」「講義内容・方法」の設問の数字に現れていると思われる。これは学生の満足度も高く、学生も難易度は適切と思っているようである。まじめな学生は留学生に多く、表情を見ながら言葉を言い換えるなどして授業をすすめたことは、日本の学生の理解にも功を奏したと思われる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

「総合的満足度」を含め、設問の全ての数値が全体の平均を上回っており、普段からの学生から聴取している授業の印象を表していると思われる。学生に対しては出席を継続することを要求し、多様化する学生に対するために、本学独自の事情をより分析・理解し、組織的に教員間で検討する必要がある。毎回の授業においてもそれなりの評価を得る努力は必要であり、今後も学生の意見を聞きながら授業を改善する予定である。

	設問No	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.57	3.39
	I.(2)	3.60	3.47
	I.(3)	3.27	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.43	3.05
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.50	3.32
	II.(8)	3.57	3.39
	II.(9)	3.47	3.27
	II.(10)	3.43	3.28
	II.(11)	3.13	3.09
	II.(12)	3.53	3.43
	II.(13)	3.63	3.43
満足度	II.(14)	3.63	3.36

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.48	3.26
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.46	3.28
II.(4)~(13)		
総合的満足度 III.(14)	3.63	3.36